

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナカミチ児童デイサービス忠生			
○保護者評価実施期間	2025年 5月 15日		～	2025年 5月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数)	11人
○従業者評価実施期間	2025年 5月 15日		～	2025年 5月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性に応じた支援を行い、安全・安心な支援体制を整えている。	・アセスメントや個別支援計画をもとに、一人ひとりに合わせた支援を実施している。 ・職員間で情報共有を行い、統一した支援につなげている。 ・定期的な研修や避難訓練、ヒヤリハットの共有を実施し、安全管理の向上に努めている。	・研修や事例検討を継続し、職員の専門性向上と支援の質の向上を図る。
2	保護者との信頼関係を大切に、丁寧な情報共有と相談支援を行っている。	・HUGシステムや送迎時の引継ぎを活用し、日々の様子や支援内容を共有している。 ・保護者からの相談に適切かつ迅速に対応している。	・面談の内容や情報発信を充実させ、保護者との連携をさらに深めていく。
3	・支援内容や活動を職員全体で検討し、継続的な改善に取り組んでいる。	・活動内容が固定化しないようチームで企画、検討している。 ・支援記録や振り返りを行い、支援の改善につなげている。	・関係機関との連携や情報共有をさらに充実させ、より質の高い支援を目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や地域資源を活用した活動の機会が少ない。	・安全面や利用児童の特性に配慮しながら活動を実施しているため、地域交流の機会が限られている。	・地域イベントや公共施設の活用など、安全に配慮しながら交流機会を増やしていく。
2	保護者同士の交流や家族支援の機会が少ない。	・利用時間や送迎方法の違いにより、保護者が集まる機会を設けることが難しい。	・保護者会や情報交換の場、家族向けの情報提供など、参加しやすい形で交流の機会を検討する。
3	外部機関との連携や外部評価・研修への参加機会に改善の余地がある。	・日々の支援を優先する中で、外部との連携や研修参加の機会確保が難しい場合がある。	・関係機関との情報交換や研修への参加を計画的に進め、専門性の向上と支援の質の充実を図る。